

インフルエンザウイルス 迅速検査について

インフルエンザウイルスの迅速検査は、鼻や喉の奥の粘膜を綿棒でぬぐって検査します。簡単な検査で10～15分で結果が出ますが、発症直後では陰性になることがあります。

発症直後はウイルスの増殖が十分ではなく、検査に必要なウイルスを感知できないため、一般的に検査は発症から6時間～48時間以内に受けることが望ましいとされています。

当日に検査をするメリット・デメリット

メリット	診断が確定し、早めに抗インフルエンザ薬が投与できる。	症状の緩和
デメリット	陽性率が低い。 陰性となった場合、再検査をお勧めする。	時間と費用が再度かかる

翌日以降に検査をするメリット・デメリット

メリット	陽性率が高い。 確定診断に至りやすい。	検査費用が1回分ですむ
デメリット	確定診断の遅れから抗インフルエンザ薬の投与が遅れる場合がある。 前日に感冒処方を受けていたら、処方に変更となる。	治療の遅れ 余分な費用

検査を希望されるかは上記のメリット、デメリットを勘案し、ご本人に決定いただくこととなります。

インフルエンザ流行期や救急対応時には、十分な説明時間がとれない場合がありますので、書面にてご案内いたします。

何卒ご理解のほどお願いいたします。



医療法人輝栄会

福岡輝栄会病院